

指定管理者制度導入施設 最終評価シート

1 基本情報

公の施設名	相模原市立城山障害者デイサービスセンターつくしの家
指定管理者名	特定非営利活動法人福祉協会しろやま
指定期間	平成31年4月1日から令和5年2月28日まで（3年11か月） ※当該施設については、施設の老朽化のほか、指定管理者であった（特非）福祉協会しろやまが、近隣地で民設民営による施設を新たに整備することから、令和5年2月28日をもって廃止した。当該法人は、令和5年3月1日に新施設を開設し、引き続き利用者への支援を行っている。 ※以下、令和4年度の管理実績等は令和5年2月末までの実績
施設設置条例	相模原市立城山障害者デイサービスセンター条例
施設の設置目的	在宅の障害者及びその介護を行う者に対し、通所による生産活動、創作的活動、介護方法の指導等の便宜を供与することによって障害者の自立と社会参加を促進し、もって障害者の福祉の増進に寄与する。 ※障害福祉サービス事業(就労継続支援B型)を実施。
施設概要	開所時間:午前8時30分から午後5時15分まで 休館日:日曜日及び土曜日、国民の祝日に関する法律に規定する休日、12月29日から翌年の1月3日まで 年間開所日数:268日 敷地面積:947.00㎡ 延床面積:301.00㎡ 主な施設:訓練・作業室、多目的室、静養室・相談室、更衣室、シャワー室、事務室、トイレ、倉庫
施設所管課	健康福祉局 地域包括ケア推進部 高齢・障害者福祉課

2 管理実績

項目（単位）	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
利用者数合計（人）	4,589	4,879	4,720	4,198
自立支援給付費（円）	39,148,095	41,862,259	37,160,304	34,228,908
収入総額（円）	41,320,334	43,829,043	40,708,264	36,252,369
支出総額（円）	37,890,919	28,578,673	30,366,573	27,807,231
工賃支払い（円）	1,686,476	1,099,634	2,752,087	1,679,241

3 成果指標の達成度

評価（5評価）	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	評価点 (20点満点)	評価点
	A	A	A	A		15

指標1

指標名（単位）	開所日1日当たりの平均通所者数 単位：人
指標式と指標の説明	年間延通所者数÷開所日数 施設を利用し、生産活動、創作活動等の便宜を受けることにより、障害者の福祉の増進が図られるため、1日当たりの平均通所者数（年間延通所者数÷開所日数）を成果指標とする。

項目（単位）	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
目標値（人）	17.0	17.0	17.0	17.0
実績値（人）	17.1	17.1	17.1	17.1
達成度（％）	100.6%	100.6%	100.6%	100.6%

4 事業の実施状況

評価（5評価）	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	評価点 (20点満点)	評価点 19
	A	S	S	S		

市が指定する事業

主な事業名	内容等	効果等
就労継続支援（B型）の事業	利用者の心身の状況に応じ、利用者の自立の支援と日常生活の充実に資するよう、適切な技術をもって行う。また、利用者に対し、その有する能力を活用することにより、地域生活を営むことができるようにするため、利用者の心身の特性に応じた必要な訓練を行う。※受注作業：紙袋の製作、ジョイントの組立、封筒の仕分け、公共施設の清掃、除草等。	受注作業を提供し、仕事に対する意識の向上ができた。 仕事以外でも社会性の養い、自立と余暇も含めて行事を実施し、社会性や身辺自立を高めることができた。
職場実習	利用者が就労継続支援（B型）計画に沿って実習できるよう、実習の受入先の確保を行う。また、公共職業安定所、障害者就労・生活支援センター及び盲学校、聾学校、養護学校などの関係機関と連携して、利用者の就労に対する適性や要望に応じた職種・実習の受入先の確保に努める。	高校及び大学生の福祉現場実習の受け入れをすることができたが、コロナ禍の影響や利用者からの希望もなく、実習等は実施できなかった。
求職活動の支援	公共職業安定所での求職登録等、利用者が行う求職活動の支援を行う。また、公共職業安定所、障害者就労・生活支援センター及び盲学校、聾学校、養護学校などの関係機関と連携して、利用者の就労に関する適性や要望に応じた職場開拓に努める。	コロナ禍の影響等で該当者なし。関係機関とは必要に応じて連携した。
職場安定のための支援	利用者の職場定着を促進するため、公共職業安定所、障害者就労・生活支援センター及び盲学校、聾学校、養護学校などの関係機関と連携して、利用者が就職した日から6月以上、職業生活における相談等の支援を継続する。	コロナ禍の影響や利用者からの希望もなく、実施できなかった。

企画提案事業

主な事業名	内容等	効果等
(なし)		

自主事業

主な事業名	内容等	効果等
土曜開所	重度障がい者等（療育手帳Aの方、30歳未満の利用者等）を対象に毎月土曜開所日（隔週）を設け、余暇を支援	散歩による体力維持や少人数の利用によって手厚い支援ができた。
社会参加促進事業	地域の見守りも兼ねて、定期的には地域清掃を実施。社会性やマナーの習得、余暇支援として行事を実施	地域清掃をすることで、利用者を地域住民の方々に理解していただくことができた。 行事を実施し、社会性の向上や利用者を楽しむ機会を提供できた。
地域との交流	城山地区社協との共催によるまつりの実施	施設をPRすることができた。

5 利用者の満足度

評価（5評価）	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	評価点 (20点満点)	評価点
	B	D	B	A		

利用者満足度調査	
調査手法	利用者全員にアンケート実施
目標値の基準	「施設を利用して良かったと思いますか」との問いに対する5段階評価のうち「大変良かったと思う」、「まあまあ良かったと思う」と回答した方の割合の合計

項目（単位）	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
目標値（%）	92.3	92.9	93.5	94.1
実績値（%）	90.0	72.2	85.0	94.7
達成度（%）	97.5%	77.7%	90.9%	100.6%

利用者意見の把握に資するその他の取組

主な取組事項	取組内容	
ご家族との連携	通年	定期的な情報交換会の開催（年4回）
利用者打合せ	通年	利用者の要望の傾聴、利用者同士のトラブル解決の場として毎月1回実施
意見箱の設置	通年	利用者が気軽に匿名で意見が伝えられるように事業所内に意見箱を設置

利用者意見に対する対応

主な意見	対応内容
行事の内容の希望	すべてのニーズには対応できなかったが、様々な行事を実施することができた。
本の増設	引っ越し（移転）があることを理解していただき、引っ越し後に希望をとって新しい本の購入を約束

6 施設の経営状況

評価（5評価）	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	評価点 (20点満点)	評価点
	S	S	S	S		

施設の収支概要		(千円)			
項目	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	
収入（a）	41,321	43,829	40,708	36,252	
指定管理料	0	0	0	0	
自立支援給付費	39,639	41,862	37,160	34,229	
その他の収入（就労支援事業）	1,682	1,967	3,548	2,023	
支出（b）	37,891	29,166	30,366	27,807	
人件費	30,730	20,070	19,070	19,556	
就労継続支援事業費	1,686	1,100	2,752	1,679	
その他の支出	5,475	7,996	8,544	6,572	
本体事業収支【(a)-(b)】(c)	3,430	14,663	10,342	8,445	
自主事業収入（d）					
自主事業支出（e）	自主事業に係る経費は、本体事業の経費に含まれる。				
自主事業収支【(d)-(e)】(f)	0	0	0	0	
全体収支【(c)+(f)】	3,430	14,663	10,342	8,445	
備考					

7 管理業務の履行状況

検査項目	確認結果			
	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
管理業務	適正に実施	適正に実施	適正に実施	適正に実施
危機管理	適正に実施	適正に実施	適正に実施	適正に実施
人員配置・地元活用	適正に実施	適正に実施	適正に実施	適正に実施
現金管理	適正に実施	適正に実施	適正に実施	適正に実施
会計・経理	適正に実施	適正に実施	適正に実施	適正に実施
情報セキュリティ	適正に実施	適正に実施	適正に実施	適正に実施
情報公開・個人情報保護	適正に実施	適正に実施	適正に実施	適正に実施
市への報告事項・事前承認等	適正に実施	適正に実施	適正に実施	適正に実施
加点の有無	無	無	無	無
主な加点内容				

8 指定管理者の自己評価

法人の理念であります「地域で支え合い、地域と共いきる、地域にひらかれた施設」を目標に3年11か月運営できたと思います。就労継続支援B型の施設として、もみじホール城山や城山地区社協、近隣等から仕事の受注をいただくこともできました。また、利用者の利用率も高く安定した運営を図ることができました。今後は利用者のニーズに合ったステップアップを支援し、通過施設としての役割や新規利用者の受け入れも検討課題と思っています。

9 所管課意見

就労継続支援B型事業を行う施設として、法令に定める生産活動や知識・能力の向上のために必要な支援を行うとともに、個人面談の実施や利用者意見箱の設置など、個人個人のニーズ把握に努めており、利用者に寄り添った支援が行われている。また、様々な種類の作業の受注を安定して得ており、発注者から信頼が置かれていることが伺える。

コロナ禍においては、自粛する事業もある中、就労継続支援B型事業の生産活動については、感染症対策を講じながら継続して提供していたことを評価する。令和2年度の利用者満足度がD評価となったのは、新型コロナウイルスの影響により利用者が楽しみにしている行事等が軒並み中止となったことなども原因と推測される。コロナ禍で事業が例年どおり実施できなかった点を考慮し、通常時の前年に置き換えて利用者満足度「ふつう」を2名として仮定すれば、C評価に値する。

令和5年2月末をもって市施設は廃止し、令和5年3月1日に指定管理者が近隣地で民設民営の新施設を開設したが、引き続き利用者に寄り添った支援を行ってほしい。

10 選考委員会意見

【評価した点】

- ・自主事業として地域の見守りを兼ねた定期清掃等を実施し、地域貢献を行うとともに、地域交流に力を入れていること。
- ・利用者への支援については、個人のニーズに応じた支援が行われており、通所意欲の向上に繋がっていること。
- ・本来休所日の土曜日について、自主事業として隔週で開所し、重度の障害のある利用者の社会参加の促進に貢献したこと。

【今後期待する点】

- ・令和5年3月1日からは民設民営の施設となるが、引き続き、就労の機会の提供や能力の向上を支援する地域の受け皿として、利用者のニーズに応じた支援を提供していただきたい。

